

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2020年11月30日

東京都作業部会確認年月日 2020年12月11日

事業名 放送用回線（ケーブルテレビ回線）

案件名 映像配信ネットワーク関連業務委託（構築・サービス提供）

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	大枠合意に基づき、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<p>本件は、OBS(Olympic Broadcasting Service)から受信した映像を大会会場である競技会場、選手村、オリンピックファミリーホテル、IBC(International Broadcasting Centre)/MPC(Main Press Centre)に配信する Inter Venue CATV サービス、および競技会場で実施されている競技映像を同一競技会場内に配信するシステムである In Venue CATV サービスを提供するため、システム構築並びに大会時におけるサービス提供を依頼するものである。</p> <p>これら CATV サービスは用途に応じ選択され、プレスや放送事業者、オリンピックファミリー、NOC/NPC、組織委員会スタッフ等のステークホルダーに利用される。業務運営に必須のサービスであるため、当該事業における全体最適性を担保すべきとの見地からは、本件は、大会運営を担う組織委員会にて、一括して執行することが効率的かつ効果的であると考ええる。</p>	

	必要性	開催都市契約、開催都市契約運用要件及びオリンピックゲームズガイドにおいて定められている。	-HCC-OR BRS02 -HCC-OR PRS03 -HCC-OR PRS08 -HCC-OR VIL08 -OGG Olympic Family and Dignitary Services 2.4.3.1
経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	効率性	Inter Venue CATV は、すでに基本設計ならびに詳細設計を NTT コミュニケーションズが実施し、完了済みであり、CATV システムは引き続き NTT コミュニケーションズに発注することが効率的である。また、In Venue CATV も基本設計ならびに詳細設計共に NTT コミュニケーションズが実施済みである。そのため両システム共に、大会用 CATV を熟知している NTT コミュニケーションズにあわせて発注することが効率的である。	
	納得性	本件は、通信サービス提供を責務とする通信サービス分野のパートナー企業に対する指定調達となる。 電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービス分野のパートナー企業は、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		本件は、平成 29 年 5 月 31 日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。